

合志市



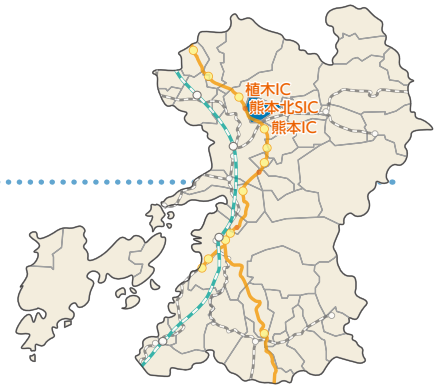
荒木 義行 市長

本市は、平成18年2月に2町(合志町・西合志町)が合併し誕生しました。
熊本市の北東部に隣接しており、住環境・自然・農業・企業立地がバランスよく、通勤通学に便利なまちとして人口増加を続けており、「住み良さランキング2021」では九州2位となった元気あるまちです。

本市の将来都市像「元気・活力・創造のまち」を実現するため、市民の健康、市行財政の健康に向けた「健康都市こうし」を掲げ、様々な取り組みを行っています。本市の取り組みへのお力添えをいただければ幸いです。

寄付 御礼

- ・贈呈式開催(首長出席、寄付額10万円以上)
- ・感謝状贈呈
- ・地公体広報誌掲載
- ・HP掲載
- ・視察受入
- ・功労者表彰推薦
- ・紺綬褒章推薦
- ・その他



人口
総人口……61,818人
男……29,808人
女……32,010人
世帯数…22,914世帯

面積
総面積……………53.19km ²
農用地…21.64km ² (40.7%)
森林…6.28km ² (11.8%)
宅地…11.64km ² (21.9%)

産業構造
第1次産業……3,616(1.4%)
第2次産業 153,878(58.7%)
第3次産業 104,588(49.9%)
生産総額:百万円

人口構成比
15歳未満……18.5%
15～64歳……57.1%
65歳以上……24.5%

教育機関
小学校……………8校
中学校……………4校
高等学校・高専……1校
大学・専門学校他…1校

高等教育機関
熊本県立農業大学校
農学部(農産園芸学科/野菜学科/畜産学科)
熊本高等専門学校[熊本キャンパス]
(情報通信工学科/電気電子工学科/制御情報システム工学科/人間情報システム工学科/機械知能システム工学科/建築社会デザイン工学科/生物化学システム工学科/専攻科/リベラルアーツ系)

交通アクセス
■合志市役所まで
九州自動車道 熊本ICから……………7km
阿蘇くまもと空港から……………14km
サクラマチクマモトから……………15.4km

※データは令和3年6月発行、熊本県市町村要覧をもとに作成しております。

合志市まち・ひと・しごと創生推進計画

〈SDGs〉関連するゴール



活気あるまちづくりに向けて

- 基本目標1 稼げる地域産業をつくる**
 市民の健康増進を目的とした新ヘルスケアビジネスを推進し、当該ビジネスによる地域産業の活性化、また新たな地域発ヘルスケア産業の創出を目指す。
- 基本目標2 合志市への新しいひとの流れをつくる**
 官民連携による移住者の定住促進や関係人口の創出・増加につながる取り組みを推進する。
- 基本目標3 市民の結婚・出産・子育ての希望をかなえる**
 女性の人生「就職～結婚～出産～子育て～キャリアUP～職場復帰・再就職～アクティブシニア」を総合的に支援する。
- 基本目標4 暮らしに満足し、住み続けたい地域をつくる**
 官民の既存ストックを有効に活用しながら拠点性の向上と機能の分担を図り住み続けたいと思える地域の創造を目指す。

▶▶▶ 合志市

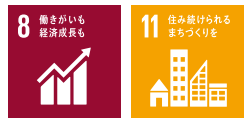
重点
プロジェクト

合志市における都市の中核拠点形成プロジェクト

分類 まちづくり

- 総事業費** 3,900,000千円 寄附目標額 —
- 計画期間** 地域再生計画の認定の日…2018年4月1日～2028年3月31日
- 数値目標**
 - 国道387号のクランク解消
 - 魅力的な商業空間の形成による地域の賑わい創出
 - 防災性の向上及び宅地の利用促進

〈SDGs〉関連するゴール



御代志から始まるまちづくり

御代志地区は、市の中央に位置しており、各種交通手段への乗り継ぎ拠点となる御代志駅を中心とした地域です。

周辺に立地する教育・文化・医療機能のほか、農業公園や桜並木など広大な自然にも恵まれた本地区の約18haにて土地区画整理事業を展開し、次の目標を達成します。

【交通結節拠点機能の充実】

新たな御代志駅及び駅前広場の整備や、国道・市道等の各種道路網整備を行なうことで、円滑な交通誘導を促し、交通結節拠点としての機能をさらに充実・拡大させます。

【安全・安心な都市の形成】

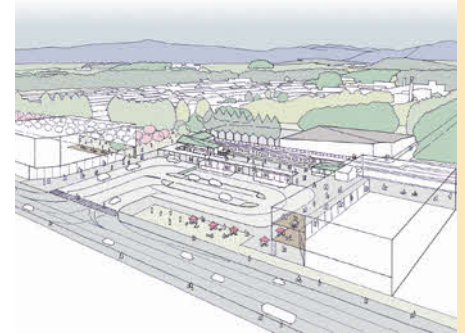
地域の生活道路の防災性向上や、宅地の利用増進を図るための都市基盤整備を行なうことで、人々が安全・安心に暮らすことのできる都市を形成します。

【魅力的な商業空間の形成による地域の賑わい創出】

土地区画整理事業にて国道沿いの鉄道を移設し、国道から進入可能な広大な敷地を生み出します。そこへ、地域の利便性を高める商業施設や多世代が交流する複合施設の誘致を図ります。魅力的な商業空間を形成することで、地域住民の生活サービス機能の向上はもとより、各所各方面からの新しい人の動きが活発化し、地域の賑わいを創出します。

【新たな雇用の創出】

住環境に加え商業機能が充実した御代志地区は稼ぐ地域へと生まれ変わります。幅広い世代でのU・J・Iターン者の就業機会の確保・雇用環境の充実を図ることで、企業の投資を促し、さらなる雇用機会を創出します。



御代志地区将来イメージ

重点
プロジェクト

健幸都市こうし推進プロジェクト

分類 健康増進事業

- 総事業費** 70,000千円 寄附目標額 —
- 計画期間** 地域再生計画の認定の日…2022年4月1日～2023年3月31日
- 数値目標**
 - バーチャルウォーキング大会への参加者 …………… 600名
 - eスポーツを実施する施設数 …………… 11施設

〈SDGs〉関連するゴール



産学官一体となった健康増進事業

本市においては、市民の健康がひいては市行財政の健康へとつながる「健幸都市こうし」を掲げ、健康増進事業に取り組んでいます。令和4年度においても、産学官連携のうえ、国や県の補助事業を活用しながら、市民の健康意識の向上や運動の継続につながるような取り組みを実施します。

【マイライフカルテのデータベース構築】

市民の健康関連データ（活動量、食事、健康意識等）と医療関連データ（健診・受診、母子手帳等）をデータベース化することで、活動情報を定常的に蓄積、一人ひとりの健康状態が把握できる環境を提供し、未病・予防につなげます。

【バーチャルウォーキング大会の開催】

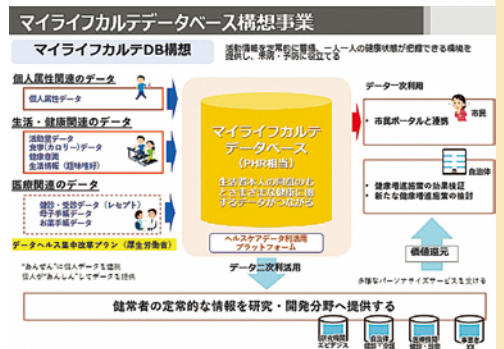
ICTを活用した3か月間のウォーキング大会を開催し、運動の習慣化につなげます。

【歩行改善プログラムの開催】

普段意識することのない「歩き方」に着目し、専門家の指導により、より正しい歩き方につなげます。

【eスポーツによる認知症予防や社会参加の促進】

近年、注目を増すeスポーツにより、高齢者の認知症予防や障がいのある人の社会参画や就労支援につなげます。



マイライフカルテ構想の概要

課題 1 トレーニング機器を効果的に更新したい



幅広い年代の方が利用しています

ヴィーブルにあるトレーニングルームは、コロナによる人数制限がある中においても、年間延べ約1万5千人の利用があり、他の体育施設と比べても利用の多い施設の1つです。機器の更新期を迎えているものの、小中学校の新設や熊本地震からの復興等を優先し、効果的に更新ができていません。市民のニーズに対応した更新を行うためにも、企業様からのご支援をぜひお願いします。

課題 2 キッチンカーを活用して地域を盛り上げたい

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、市内飲食店等の経営状況が厳しい状況にある中、アフターコロナ、ウイズコロナへの業態転換の一助としてキッチンカーを活用した地域活性化事業を計画しています。キッチンカーが地域に出向き、気軽に飲食物の購入を楽しめる取り組みを実施することで、市民の利便性の向上や高齢者をはじめとした健康支援、創業者に対するチャレンジの機会や観光を含めた新産業創出等、持続可能な地域経済の発展につなげます。



キッチンカーを活用した事業実施イメージ

課題 3 市民クリエイターが地域の魅力を発信したい



プロの講師陣によるライティングの実践演習

「合志市クリエイター塾」は、地域の魅力発信を行う「市民クリエイター」の輩出を目的に、プロの講師陣から「思いを伝える」ことを学び、今年度で8年目を迎えます。これまでに、のべ268人の卒業生を輩出し、卒業後、起業・創業を開始するケースも現れました。市が更なる起業・創業への支援体制や環境整備を強化することで、「学」から「業」へのステップアップが期待できるため、今後も質の高い教育を担保しつつ、地元の農家や企業との連携を深め、地域の魅力発信の担い手を目指します。

課題 4 市民の健康増進を図りたい

健康寿命の延伸や生活習慣病の予防など、市民がより長く健康であり続けることは重要なテーマです。それを手助けする手段の一つとして、特定健診受診があり、定期的に受診をすることで未病や早期発見に寄与し、市民の健康につながるものと考えられます。そのため、受診を推奨するための広報活動など積極的に取り組んでいるものの、本市の受診率は30%程度であり、県平均40%程度と比べて低い数値となっています。本市としては、今後も粘り強く受診の推奨に取り組むものの、効果的な手法がないのが課題です。企業様からのアイデア等お待ちしております。



健康に向けた取組(ウォーキング大会)

課題 5

ヘルスツーリズム等の観光分野を強化したい



熊本県農業公園カントリーパーク

海外大手半導体受託生産企業が近隣自治体に立地します。本市においても、これによる人口増加に加え、国内外との交流人口も増加することが見込まれます。観光資源が少ないのが本市の課題であるものの、これを契機とした観光分野の強化を、本市が将来像として掲げる「健幸都市こうし」のコンセプトと組み合わせ、ヘルスツーリズム等の取組として推進することを検討しています。観光分野の強化に向け、企業様の力を貸してください。

課題 6

子どもたちの運動活動を継続させたい

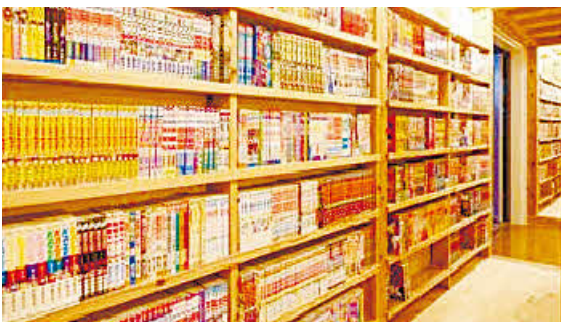
子ども達にとって、運動やスポーツの体験は、その後の人生にも影響を及ぼす可能性のある重要なテーマとなっています。本市においては、児童・生徒数が増加しており、子ども達の多様な選択を尊重できる環境づくりに努めていますが、教員の負担や競技未経験などの理由から、部活動に従事する教職員が不足しています。また、社会体育指導員についても、仕事との兼ね合いもあり、地域の担い手が不足しており、子ども達の部活動の継続が危惧される状況です。企業様からのアイデアやご支援をお待ちしています。



あらゆる運動活動の可能性を

課題 7

マンガの原画を保存・活用したい



合志市マンガミュージアム

本市においては、「合志マンガミュージアム」があり、1960年代から現在のマンガまで約20,000冊が保存され、市民に広く親しまれています。このような「読む・観る・学ぶ」の地域に根差したコンセプトに加え、「稼ぐ」ことも持続的で安定的な運営には欠かせません。そのため、県や本市にゆかりのある漫画家の原画をデジタルとして保存したり、複製を希望者に売却するなど、マンガ愛好家のニーズに沿いながら、新たなマンガミュージアムの可能性を模索していきます。

課題 8

地域の結びつきを深いものにしたい

本市は、県内でも人口が増加しており、幸いにも市外から転入いただいている方が増加しています。新たに本市で生活をスタートさせるに当たって、ご近所付き合いとして自治会は最も重要な存在の一つですが、自治会加入率は年々低下しています。災害時といった非常時だけでなく、普段からの地域社会との関わりは重要であり、人と人が豊かなつながりを持って生きていける未来づくりを進めていく必要があります。企業様からのアイデアやご支援をお待ちしています。



ボランティア表彰における市民への表彰